

## 海外安全対策情報（2016年10月～12月）

### 1 治安情勢及び発生犯罪の傾向・対策

- (1) ルアンダ州における犯罪件数は、以下に記載のとおり引き続き高い水準で推移しております。加えて、同記載数値は当館警備会社から提出された資料に基づくものであり、ここに計上されない犯罪も多数発生していることが想定されます。特に人口密集地域においては、各種犯罪<sup>ii</sup>に対する十分な注意が必要です。
- (2) 内戦終結後十数年が経過した現在においても銃器が国内に広く出回っており、銃器を使用した強盗等の犯罪被害が報告されています。特に当地では、オートバイを使用した複数名での犯行が多数報告されておりますので、車両乗車中のドアロックの徹底や走行（移動）ルートの選定等についても十分注意してください。
- (3) 治安が悪いとされる地区においては、夜間だけでなく日中であっても駐車中の車両を標的とした車上荒らしや主に外国人を狙った強盗（ひったくり含む）犯罪が数多く発生しています。従って当地では可能な限り単独での徒歩移動は慎み、華美な服装や目立つ所持品の携行は避けてください。
- (4) 当地では外国人を標的とした誘拐も発生しております。過去には中国人が実際に被害に遭う事案も報告されており、特に治安の悪い地域等においては、犯罪リスク軽減のために、目立つ行動を控えてください。
- (5) 当地では、上述した以外にも空港や路上等において、邦人が被害対象となるトラブルが発生<sup>iii</sup>しております。詳細は本文末にも記載しておりますので、参考にしてください。
- (6) 当国報道によれば、大統領息女であるイザベル・ドスサントスのソナンゴル社会長就任の最高裁合法判決を受けて、野党がデモを企画するなどし、一時的に反発を強めていたとの情報もあります。当館においても入手情報を元に注意すべき事象に対しては、適宜在留邦人に発信しております。このような情報を入手した際には、事故防止の観点から、不用意にデモ集合地点やデモの移動ルートには近づかないでください。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪数の推移

- (1) 10月～12月のルアンダ州の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数は1,353件（前四半期：1,711件）となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおりです。

【一般犯罪・凶悪犯罪】（）内は前四半期件数

殺人	113件（102件）
強盗	244件（196件）
傷害	189件（83件）

強姦 101件 (146件)

【その他】

火災 209件 (81件)

逮捕者 758名 (1,037名)

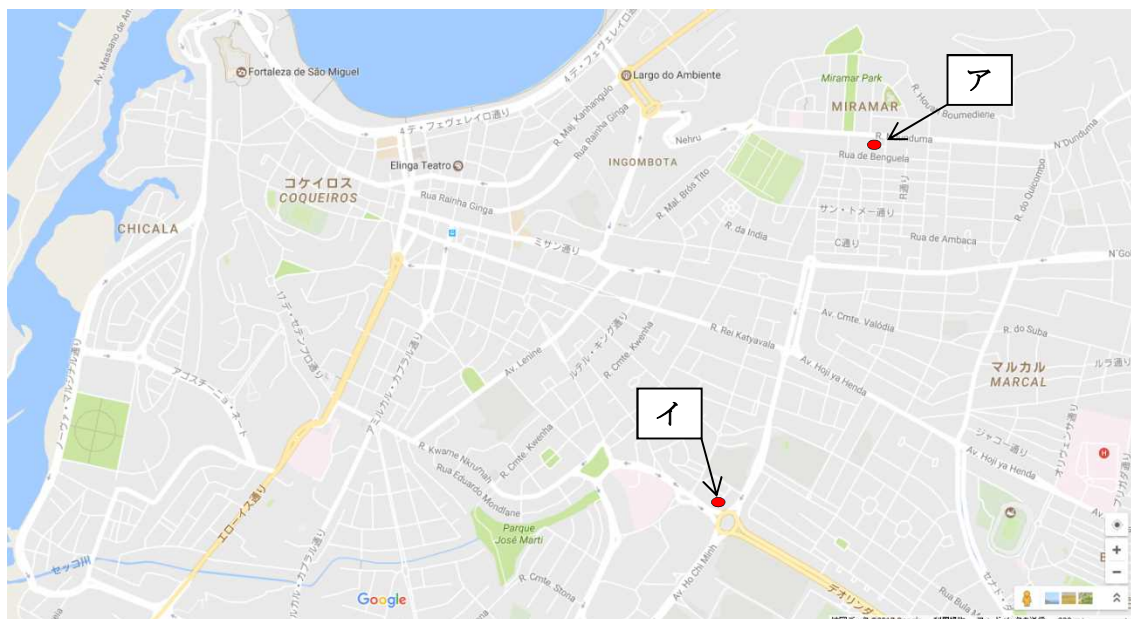
交通事故 350件 (488件)

交通違反者 12,564件 (15,283件)

(2) 犯罪事例

ア 10月10日深夜、ミラマール地区のクラブに行ったフランス人4名が、帰宅時に2人乗りのバイクに後をつけられ、自宅到着後激しい暴行を受けました。

イ 11月(日時不明)、マクルッソ地区の銀行で現金90万クワンザを引き出した女性が、車中に戻った際に銃撃され重傷を負いました。



3 テロ・爆弾事件発生状況

当該期間中における発生の情報はありません。

4 主な誘拐・脅迫事件発生状況

当該期間内において個別の発生情報はありませんでした。2016年に合計で38件の誘拐事件が発生したとの報道がありました。

\*内訳：ルアンダ州(13件)、ウアンボ州(5件)、ビエ州(4件)、モシコ州(3件)、ウジェ州(3件)、ベンゲラ州(3件)、ウィラ州(3件)、クワンド・クバンゴ州(2件)、クワンザ・スル州(1件)、カビンダ州(1件)

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

特に問題となる情報はありません。

- 
- i 当国治安当局による犯罪発生（認知）件数の公式発表は、過去一度も行われておらず、本情報内の各犯罪・事故等にかかる件数や報告内容は、当館警備会社が独自作成した資料に基づくものである。
  - ii 過去に邦人が被害を受けた事件一例、①所持品を狙った強盗事件、②車上荒らし、③車両部品の盗難、④住居侵入被害等。
  - iii 過去に邦人が被害を受けた事案一例、①空港での不当な金銭要求、②港湾施設や政府関係施設の撮影を巡るトラブル、③当国官権からの不当な金銭要求等